

# 1

JAN/2018/Vol.154

# 広報 東峰

# TOHO

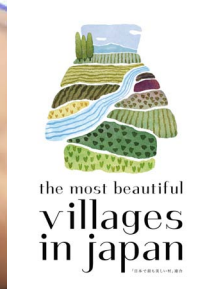
URL : <http://vill.toho-info.com>

○九州北部豪雨復興チャリティプロレス  
『東峰村ば元気にするバイ！！』



### 目次

- 2p / 3p ○○○年頭のあいさつ
- 4p / 6p ○○○村のニュース&トピックス
- 7p ○○○地域おこし協力隊 活動日誌
- 8p / 10p ○○○公民館ひろば
- 11p ○○○保健師からのお知らせ
- 12p / 15p ○○○役場からのお知らせ
- 16p / 18p ○○○暮らし情報・人の動き
- 19p ○○○村の行事・在宅医表
- 20p ○○○いきもの係



福岡県東峰村

毎月15日発行





**東峰村長 澁谷博昭**

# 年頭の

平成30年の新しい年を村民の皆様と共に迎えられたことに心から感謝を申し上げます。

昨年は、東峰村にとって試練の年でありました。7月5日に発生した九州北部豪雨によって、東峰村は大きな被害を受け、村民の方が亡くなるという、大変痛ましい事態となりました。改めて、お亡くなりになられた方のご冥福をお祈り致しますと共に、被災された方が1日でも早く元の生活が取り戻せるよう、村として最大限の努力をさせていただきます事をお約束いたします。

また、道路の復旧、仮設住宅の建設等々の応急災害対応を、何よりもスピード優先で実施してまいりましたので、多くの至らない点もあったかと思えます。それにつきましては、貴重な経験として今後の災害対応に活用して参りたいと存じます。一方で、多くの方々から心温まる助けを頂いた1年でもありました。応急復旧では、自衛隊・消防・警察の皆さん、ボランティアの方々、全国各地から義援金・寄付金を頂いた方々等々、多くの人々からのご支援を頂きました。私達、東峰村民は一体となって、平成30年を「復興元年」として、美しいふる里の風景、農業、伝統産業を蘇らせるために頑張る時ではないでしょうか。その事が、多くの方々から頂いたご厚意にお応えする最善の道であると思えます。

災害復旧につきましては、現在、福岡県を始め、国土交通省・農林水産省・環境省といった復旧に係る諸機関及びJR九州に、1日でも早い工事着手・完了を求めて全力で復旧工事の折衝を実施しております。

さらに、九州大学と連携し災害に強い村を創るため、復興計画の策定並びにこの様な取り組みを通じ、1日でも早く村民の皆さまが安心して暮らせる村づくりの実現を達成したいと強く思っております。

災害復旧を力強く進めていく一方、本村の目標である「持続可能な村づくり」を達成するため、「東峰村まちひと・しごと創生総合戦略」の実行を着実に進め、農林業の振興、特産品の開発、商工観光の推進、企業の誘致等の積極的な取り組みが欠かせません。

基幹産業の農林業・窯業の振興につきましては、1日でも早い被災前の状態への復旧に全力を注ぎます。また、積極的な情報発信等を行い、「観光立村東峰村」への取り組みをさらに強化してまいります。

福祉分野につきましては、医療や介護、生活支援体制等、総合的な福祉の充実に努め、子育てがしやすい環境づくり、高齢者の皆さま並びに被災された方々が安心して充実した生活を送れる地域づくりを積極的に推進してまいります。

また、移住・定住による人口減少に対する環境づくりをさらに推進し、「住んでよかった」「訪れてよかった」「移住してよかった」と思って頂ける村を創るために、村長以下、役場職員全員で努力させて頂く所存でございます。

本年も皆様と共に、子供や孫に引き継げる「持続可能な村づくり」に「一直線」で取り組んでまいりますので、村政に対しなお一層のご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

新しい年が、皆さまにとりまして素晴らしい1年となりますよう心から祈念を申し上げ、年頭のごあいさつといたします。



# あいさつ



東峰村議会 議長 大蔵久徳

平成 30 年の年頭にあたり東峰村議会を代表して新年のご挨拶を申し上げます。

村民の皆様にかかれましては日頃より議会活動にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、昨年 7 月に発生した豪雨災害により東峰村は甚大な被害をこうむりました。改めまして亡くなられた方々に哀悼の意を表しますと共に、被災されました皆様にお見舞いを申し上げます。中でも住み慣れたわが家を失くされ、仮設住宅等で正月を迎えられた皆様の不便さは察するに余りあるところです。

あまりの被害の大きさに呆然とする中、関係各位のご努力により迅速な復旧が進んだこと、また多くのボランティアの方々の献身的な活動に心から感謝申し上げます。

これから本格的な復旧復興が始まります。東峰村はいち早く激甚災害の指定を受け、予算的な面で優遇されるものの、災害を受けた農地等の全面復旧には最低でも 3 年、砂防治山に於いては 5 年から 10 年はかかると思われます。今回の豪雨のように想定を超える雨量に耐えうる改良復旧を強く求めるものであります。

商工業に於いても大きな打撃を受け、残念ながら廃業された方々がいらっしゃいます。また再建に向けて各々で頑張っている方もいらっしゃいますが、商工業に対する助成がほぼ無いのが現状です。

被災後には朝倉市、東峰村の首長、議長で国・県等に要望活動を行い、また、昨年末には朝倉市議会と筑前町議会、東峰村議会合同で国の関係省庁に要望活動を行いました。今後もオール朝倉で連携して復旧復興に努めていきたいと考えています。

J R 日田彦山線の復旧は村民の交通手段の確保、観光振興に留まらず、治山・治水などの面からも一刻も早い対応が求められ、議会としても村長と要望活動を行ってまいりました。その他にも関係する日田市議会、添田町議会の議長と連携して今後の対応を検討しているところです。

被災して間もない今は復旧復興の事しか頭が働かないのが実情ですが、少し外に目を向けると世界情勢に大きな変化があり、とりわけ北朝鮮問題は朝鮮半島が九州に近いこともあり注目すべき関心事の一つです。アベノミクスにより経済が回復している時に大きな不安材料となっており、大事にならないことを望むばかりです。

村では、小石原焼の福嶋善三さんが人間国宝に選ばれるという喜ばしい出来事があり、東峰学園の体育祭では子供たちの頑張りに勇気をもらい、また有志による様々なイベントで元気づけられました。笑顔が大きな傷を少しずつ癒してくれると実感しています。

復旧復興は国・県に頼るところが大ですが、村民一人一人の智慧、力も重要なカギです。その為にも皆様のご意見を伺う機会を増やしていきたいと思っています。災害を乗り越え村民の皆様と共に、議会も安心安全で活気があり、より良い暮らしができる村づくりのために力を注ぎたいと思っております。

今年一年 皆様が健やかに過ごされます事を祈念致しまして私のご挨拶といたします。